

## 平成30年度 経営協議会学外委員からの意見に対する対応状況

	経営協議会等	学外委員からの意見	本学の対応状況
1	メール (H30. 8. 15)	大学院生等を増やすべく、諸外国に大学の特色、生活環境を含めた地域の特典をもっと広報したらどうか。	英語版の大学紹介プロモーションビデオを作成し、本学英語版ホームページへ掲載しているほか、海外の交流提携校、日本留学フェア、進学説明会等で本学を紹介する際に活用している。 また、募集要項や各種書類等の英訳を進めている。
2	メール (H30. 8. 15)	外国の研究者を積極的に招待し、滞在していただくための予算を大学外の支援組織等に依頼できないか。	甲府市ふるさと納税支援コースとして「国際交流用」が設けられ、寄附金の90%が甲府市と本学との包括連携協定に基づき、本学へ補助されることとなった。当該補助金は、留学生誘致や支援等、甲府市の国際交流を推進するために活用予定である。 また、学長裁量経費により、国際的に活躍されている学外有識者を招いた学長招待特別講演会を開催し、積極的な意見交換を通じ広く意見を求め、大学運営に反映している。
3	第90回経営協議会 (H30. 11. 22 開催)	サバティカル制度について、様々な制度を調査し、導入すべき。詳細な細則等が無いと運用が難しいと思われる。	サバティカル制度実施細則（案）及びガイドライン（案）を作成し、各学域等からの意見を求めている。令和元年度から導入予定である。
4	第91回経営協議会 (H31. 1. 18 開催)	ワイン科学研究センター育種試験地跡地は、甲州ぶどうの生産拡大のため、県内ワイナリー等に譲渡してはどうか。	金融機関等とも連携し、有効に利用されるよう譲渡先を検討している。
5	第91回経営協議会 (H31. 1. 18 開催)	高知工科大学、オックスフォード大学及びケンブリッジ大学などは、夏季に国際学生寄宿舍の入居者を退去させ、国際会議や夏季セミナー等に使用するなど有効活用をしている。この方法であれば、部屋も比較的清潔に保たれる。同様の有効活用策を導入したらどうか。	意見を取り入れ、対応を検討することとした。

6	第 91 回経営協議会 (H31.1.18 開催)	山梨大学は地方創生に寄与している事業も多いため、山梨県等と連携し、地方創生に関する予算の獲得を検討してはどうか。	関係理事・学長補佐等で構成する将来構想検討WGを立ち上げ、本学の将来構想・方向性に関し検討を行い、令和元年5月23日に山梨県及び山梨県立大学と連携協力に関する協定を締結した。
---	------------------------------	--	---